

定時制生徒初出場！
& 全国大会出場権get
藤井寺工科高校 定時制



第8回
「高校生ものづくりコンテスト全国大会」

借り物 手作りの
工具、測定具で強豪に挑む

奇跡の

旋盤技術競技会 - 大阪大会 - (2008年7月20日)

今までは“定時制生徒の出場は難しい...”といわれていたこの大会で、藤井寺工科高校 定時制生徒が初めて出場し、1位と同点の高成績で、11月に行われる全国大会に駒を進めた。

使用する工具は、1本数万円するものもある。それを何本も必要とするのだ。名門高校のすばらしい工具に対し、予算の少ない定時制。ほとんどの工具を手作りにした。

より専門的な指導を！
人材バンクで達人を探し、少ない講師料で、指導にきてもらうことに...



工具を手作りしてもまだまだ足りない！ 教師達が、前任校、友人を頼りに走り回って工具と測定具を借りた！

定時制は、全日制の裏版、だから練習場所の工場を使うこともままならず、定時制教師達は全日制教師に、頭をさげつつ、練習場所を確保した。

自信のない現代の若者が、明確な目標に向かい出したとき、その瞳は鋭く輝きはじめた！

地下資源のない日本が、世界有数の経済大国として今日あるのも、ものづくりの技術があつてのことです。工業高校は、「わが国のものづくり基盤産業の担い手となる技術者を養成する。」という大きな役割を担っています。団塊の世代が定年を迎え、若者の製造業離れが進む中、ものづくり技術・技能の継承が危ぶまれています。「高校生ものづくりコンテスト」は、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合うことで、技術・技能水準の向上を図るとともに、ものづくりの社会的機運を高める絶好の機会といえます。

藤井寺工科高校定時制は、種々の制約の中でも、志を高く持ち、現在は全国大会に向けて、練習に励んでいます。

” 手作り工具で全国に挑む
目指すは... **工科高校日本一** !! ”



工科高校日本一を目指して、ひたむきに技術を追求する生徒と教師達。

* 一度インターネットで「高校生ものづくりコンテスト」で検索してみてください。